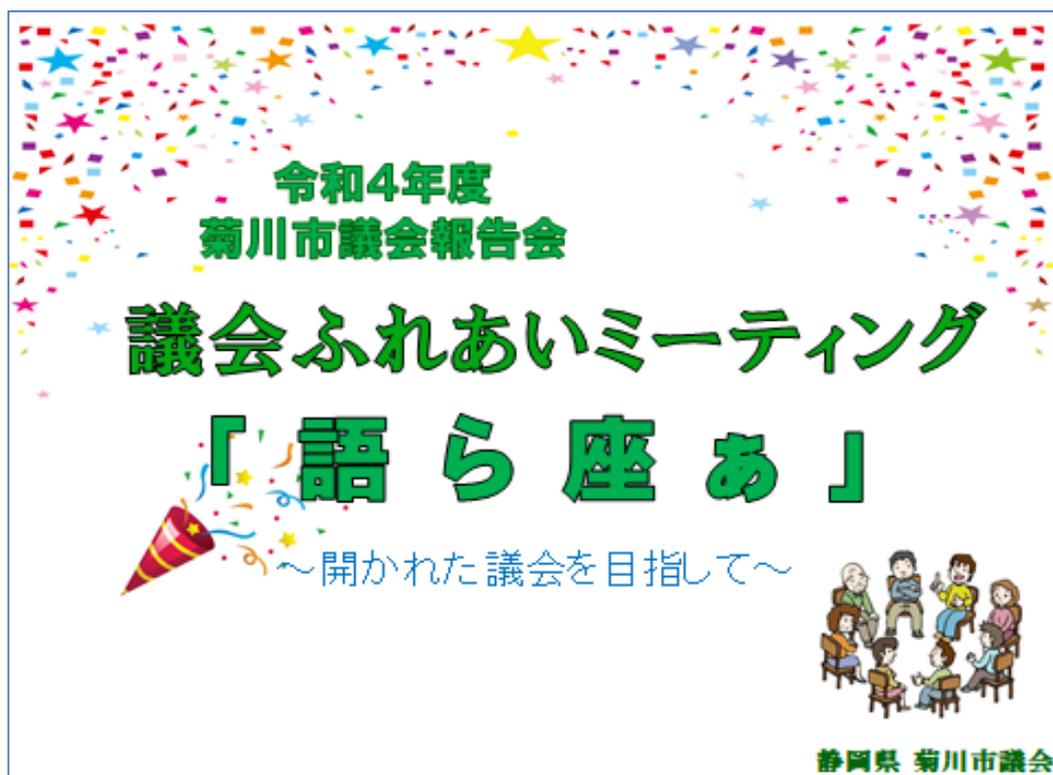


令和4年度 議会報告会 配布資料



各ページのQRコードで、関連のホームページがご覧になれます。





市議会の仕事



市議会の仕事

© 菊川市

市議会とは（議決機関と執行機関）

市政を推進する主体は市民の皆さんですが、実際に市政を行う仕組みとして、議決機関と執行機関があります。

市議会は議決機関と呼ばれ、市民の求める市政の基本的な方針について、議案などの審議を通じて決めていきます。そして、市長や教育委員会などの執行機関は、この議会の決定に沿って仕事を進めることになります。そこで、両者の関係は、「市政の両輪」とも呼ばれています。

このように、議決機関である市議会と執行機関とは、お互いの立場を尊重しつつ、チェックアンドバランスの機能を生じながら、市政を適正に運営する仕組みになっています。



市議会の役割

© 菊川市

議員の兼職の禁止

市議会議員は国会議員、他の議会の議員（一部事務組合の議員は除く。）、地方公共団体の常勤の職員と兼ねることができません。その趣旨は、議員がその職務を遂行する場合に、その兼職が支障となることを排除することにあります。

議員の兼業の禁止

議会の議員は当該地方公共団体に対し、請負をすることと、請負をする法人の役員になることを禁止されていますが、その趣旨は、議会運営の公正を保证するために設けられているものです。

議長と副議長

議会は、議員の中から議長及び副議長を選挙で選びます。

議長は、市議会を代表し、議会という合議体の意思を外に向かって表す立場にあります。たとえば、議会の代表として、国会や関係行政庁に意見書を提出します。議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を処理します。副議長は、議長に病気などの事故があるとき、又は欠けたときに議長の代わりにその職務を行います。

議決

執行機関が仕事を進めるために、市議会の議決を必要とするものは、地方自治法第96条第1項で15項目を規定しています。

主なものは、次のとおりです。

- 条例を制定したり改正又は廃止すること。
- 予算を定めること。
- 決算を認定すること。
- 予定価格1億5000万円以上の工事などの請負契約を締結すること。
- 予定価格2000万円以上の財産の取得や処分をすること。

同意

市長が選任する重要な人事（副市長、教育委員、監査委員など）は、市議会の同意が必要です。

選挙

議会における意思決定は、通常、議決によって行われますが、特定の職の者を選ぶときは、選挙により意思決定を行います。

議会が選挙を行う主なものは、次のとおりです。

- 議長と副議長の選挙
- 仮議長（議長及び副議長とともに事故があるとき選挙される）の選挙
- 選挙管理委員と補充員の選挙
- 一部事務組合議会議員の選挙 など

調査・検査

市の行政が、議会の議決どおりに行われたかどうかを調べるための権限です。

意見書の提出・決議

市議会は公益に関する事件につき、国会や関係行政庁に意見書を提出することができます。公益に関する事件であれば、国などの事務に関して、意見書を提出し、適切な対策を講じるよう要望することができるものです。また、市議会は自らの意思を内外に明らかにするための決議を行うこともあります。

請願（陳情）の審査

市議会は、請願（陳情）を審査し、本会議で採択された請願のうち、必要があるものは、その結果を市長などの執行機関へ送ります。

市政のチェック

本会議での議員による一般質問や委員会での質疑・質問を通じて、市政の方針や行政が公平・公正かつ効率的に運営されているかどうかを質しています。

菊川市議会の概要

1. 議員 (令和4年4月1日現在)
 ①任期：令和3年1月30日～令和7年1月29日
 ②議員数：条例定数 17人・現員 17人(うち女性4人)
 ③年齢階層別議員数(人)

年齢別	25～30	31～40	41～50	51～60	61～65	66～70	71～75	平均
人数	2	0	1	2	3	3	6	61.65歳

2. 議会の機構
 ①常任委員会：総務建設委員会 9人 教育福祉委員会 8人
 ②特別委員会：一般会計予算決算特別委員会 17人
 ③議会運営委員会 定数 7人
 ④議会だより編集委員会、議会報告企画委員会、政策討論会幹事会
 ⑤議会改革推進委員会、議会ICT推進会議 など

静岡県 菊川市議会

市議会の概要



市議会の概要

© 菊川市

1 議員

(1)任期：令和3年1月30日～令和7年1月29日

(2)議員数：条例定数 17人・現員 17人(うち女性4人)
 ※22人から5人削減。(平成20年6月定例会で定数条例改正)

(3)会派別議員数(人) (令和4年4月1日現在)

会派名	みどり21	市民ネット	無所属
所属議員数	13	2	2

(4)年齢階層別議員数(人)

年齢別	25～30	31～40	41～50	51～60	61～65	66～70	71～75	平均
人数	2	0	1	2	3	3	6	61.65歳

(5)期数別議員数：1期6人 2期6人 3期4人 4期1人

(6)議長等の任期：正副議長 2年(内規による)
 委員会正副委員長 2年(委員会条例による)

2 議会の機構

(1)常任委員会

委員会名	定員	所管事項
総務建設委員会	9	総務部、危機管理部、企画財政部、建設経済部、生活環境部(下水道課及び水道課の所管に関する事項に限る。)、消防本部(消防署を含む。)、会計課、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び農業委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
教育福祉委員会	8	生活環境部(下水道課及び水道課の所管に関する事項を除く。)、健康福祉部、こども未来部、教育委員会及び市立総合病院の所管に属する事項

(2) 特別委員会

委員会名	定員	所管事項	設置年月日
一般会計予算決算特別委員会	17	一般会計の予算、補正予算及び決算の審査	R3. 2. 15

(3) 議会運営委員会

① 定数

7人（正副議長はオブザーバーとして出席）

② 構成と選出方法

各常任委員会から選出

（総務建設委員会から4名、教育福祉委員会から3名）

(4) 委員会・全員協議会・会派代表者会議等の開催状況

区 分	会期中の開催回数	閉会中の開催回数	計
議会運営委員会	12 回	12 回	24 回
総務建設委員会	8 回	6 回	14 回
教育福祉委員会	8 回	6 回	14 回
一般会計予算決算特別委員会	15 回	0 回	15 回
〃 総務建設分科会	7 回	0 回	7 回
〃 教育福祉分科会	7 回	0 回	7 回
全員協議会	2 回	7 回	9 回
会派代表者会議	2 回	2 回	4 回

(5) その他会議等の開催状況

区 分	会期中の開催回数	閉会中の開催回数	計
議会報告会	0 回	0 回	0 回
議会報告企画委員会	0 回	6 回	6 回
政策討論会	1 回	4 回	5 回
政策討論会幹事会	3 回	3 回	6 回
議員研究会	0 回	3 回	3 回
議会改革推進委員会	0 回	6 回	6 回
議会ICT推進委員会	3 回	4 回	7 回
議会だより編集委員会	6 回	8 回	14 回



昨年の政策討論会から



政策討論会



© 菊川市

政策討論会の流れ



令和3年10月29日

菊川市長 長谷川 寛彦 様

菊川市議会議員 松本 正幸



菊川市議会政策討論会からの提言書
「ゴミ削減対策について」

菊川市は、循環型社会構築を図るとともに、地域の水資源の環境を保全するために「一般廃棄物処理基本計画」を平成18年3月に策定した。また、静岡県は世界規模での海洋プラスチックごみに対応するために、令和元年5月から「静岡県海洋プラスチックごみ防止6R県民運動」を展開している。菊川市の市民一人当たりのごみ排出量の少なさは県内でもトップクラスで、分別収集等のリサイクルに関しても意識を高く持ち、積極的に取り組んで頂いている。このような菊川市の現状で「ゴミ削減対策について」をテーマに取り上げた目的は、資源ギャラリーのリブレース問題からごみの発生量を更に少なくする必要があることと、地球環境問題を捉えての事由にある。

菊川市として更なるごみ発生量の削減およびリサイクルの推進を行って「環境モデル都市」に選定されるような取組みを進めて行くべきである。

課題の深掘りを行うことを目的として、政策討論会テーマを分科会ごとに細分化し、各分科会にて「現状把握」「問題点の洗い出し」「対策」について調査・検討を行った。その結果を政策討論会全体会で取り纏め、提言書を作成した。

本提言に対する検討結果については、11月末までに報告をお願いします。

記

- 1 ゴミの排出量削減およびリサイクルの目的について各世代へのアプローチを出前行政講座等で積極的に実施すること。出前行政講座のメニューも、ゼロ・ウェイスト(7R)、※2 マイクロプラスチックによる環境汚染問題等を取り上げて、さらなるゴミの排出量削減に対する意識の向上を図ること。
- 2 「食品ロスの削減に関する法律」を柱とした事業者と消費者が一体となった食品ロス削減への取組みを推進すること。
- 3 焼却処理量の低減のため、重量割合の多い生ゴミを減らすことが出来る「家庭用生ゴミ処理機」の普及について補助金の増額等を含めて検討すること。
- 4 リユース可能な物品を受入れる常設ステーションを新たに設置し、不要品バンク的な環境でのリユース促進を検討すること。また、リユース促進に寄与しているフリーマーケット主催団体への開催場所の提供等の支援を検討すること。
- 5 家庭で出来るゴミ削減対策の推進を促すことを目的として、「我が家のリサイクルプラン」(仮称)の策定および食品ロス削減・雑紙回収等の啓発用マグシートの全戸配布を検討すること。 ※3
- 6 事業系一般廃棄物の低減を図ることを目的とした調査・研究を行い、その結果を反映した施策を実施すること。

以上

市長(執行部)からの回答

提言書の各項目に対し、関係部局から「現状」、「課題」、「今後の方向性」について回答書により全議員で説明を受けました。
議会として、今後の事業施策や決算審査等の各段階でチェックしていきます。

1. ごみ排出量削減及びリサイクルの目的について各世代へのアプローチを出前行政講座等で積極的に実施すること。出前行政講座のメニューも、ゼロ・ウェイスト(7R)、マイクロプラスチックによる環境汚染問題を取り上げて、さらなるゴミの排出量削減に対する意識の向上を図ること。

- 出前行政講座等の開催時、幅広い世代の参加を呼び掛ける。
- 講座開設の際、ゴミ減量とマイクロプラスチック問題等への課題意識を持つような説明の実施。併せてゼロ・ウェイストへの取り組みなども紹介する。
- 令和3年度中に廃食用油の拠点回収を開始する。
- ごみの出し方や分別方法を分かりやすく説明する動画を作成し、SNSにより配信し、周知する。
- 事業者がゼロ・ウェイストへの取り組みを理解し、実践する啓発を進める。
- 小学校対象のゴミ減量、リサイクル推進及び、食品ロス削減への意識啓発と理解促進を図る出前行政講座を実施する。

2. 「食品ロスの削減に関する法律」を柱とした事業者と消費者が一体となった食品ロス削減への取り組みを推進すること。

- 食品ロス対策の実実施計画を令和3年度内に策定する。
- 令和4年度より計画に沿った施策を進め、更に効果的な施策検討や情報収集により、必要に応じて計画の見直しを行う。
- 一定数のゴミステーションをサンプルとして、毎年可燃ごみに含まれる食品ロスやごみ分別の現状と傾向を把握するための調査を実施し、効果的なゴミ減量に繋がる事業実施を進める。

3. 焼却処理量削減のため、重量割合の多い生ゴミを減らすことができる「家庭用生ゴミ処理機」の普及について補助金の増額等を含めて検討すること。

- 生ごみ処理機の補助金の増額を令和4～6年度を目途に行う。
- ライフスタイルや住宅ごと適した機器や生ごみ処理方法を広報誌等により周知する。
- 西方地区でバイオガスプラントによる発電事業を営んでいる様な環境活動に熱心な事業者と連携し、食物残渣の有効・有益な処理を推進する。

4. リユース可能な物品を受入れる常設ステーションを新たに設置し、不用品バンク的な環境でのリユース促進を検討すること。また、リユース促進に寄与しているフリーマーケット主催団体への開催場所の提供等支援を検討すること。

- フリーマーケットを主催する団体と支援に関する意見交換を行い、支援の方法についての協議・検討を進める。
- インターネットを介してリユース可能品の譲渡ができる手法を構築し、現在実施している品目以外のリユース促進を進める。

5. 家庭で出来るゴミ削減対策の推進を促すことを目的として、「我が家のリサイクルプラン」(仮称)の策定および食品ロス削減・雑紙回収等の啓発用マグシートの全戸配布を検討すること。

- 「我が家のリサイクルプラン」「マグシート」を含め、先進事例を参考に効果的な手法を調査研究し、市民のごみ削減、リサイクル意識の高揚を図るため、環境衛生自治推進協議会などの関係団体と協力し啓発活動を進める。

6. 事業系一般廃棄物の低減を図ることを目的とした調査・研究を行い、その結果を反映した施策を実施すること。

- 環境資源ギャラリーへの事業系一般廃棄物の出し方の周知、適正排出説明会の開催及び、個別指導など、ごみ削減と分別の徹底について理解を深める取り組みを進める。
- 実態把握のためのアンケート調査の実施
- 組成調査により指導が必要な事業者の把握と、事業者ごとの効果的な指導方法の検討、実施。
- 市内事業所へ食品ロス対策の取り組みと併せてエコアクション21の認証取得を積極的に行うよう啓発に努める。



環境資源ギャラリー リプレース(更新)



© 菊川市

検討委員会

◇ 環境資源ギャラリーについて

- ・現在の施設は、稼働開始から15年以上が経過し、令和2年度に発生した重大トラブルの様に、多くの機器に経年劣化が認められる。延命期間10年の大規模修繕には多額の費用(同施設新設に匹敵)を掛ける必要がある。
- ・令和3年度に発生した火災事故により、粗大ごみ・不燃ごみの処理が不能となり、外部委託による処理が行われ、追加の経費が継続発生している。



環境資源ギャラリー

環境資源ギャラリーのリプレース(更新)



今年の夏頃までに結論を出す

総務建設委員会



◎令和3年度委員会テーマ

「菊川市の空家対策」

- ・菊川市の住宅・土地統計調査による空家は平成15年から平成30年の15年間で2倍以上に増加している。
- ・適切に管理が行われていない空家等では、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害など、地域住民の生活環境に影響を及ぼす。

現地視察、関連計画や事業・他市町事例の確認

静岡県 菊川市議会

総務建設委員会



委員会メンバー



◎ 菊川市

令和3年度委員会テーマ

「菊川市の空家対策」



◇ テーマ背景

- ・菊川市の住宅・土地統計調査による空家は平成15年から平成30年の15年間で2倍以上に増加している。
- ・適切に管理が行われていない空家等では、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害など、地域住民の生活環境に影響を及ぼす。



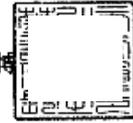
令和4年度委員会テーマ

「公共事業、民間主導による開発」



菊川市長 長谷川 寛彦 様

菊川市議会総務建設委員長 赤堀 博



菊川市における空家等の対策に関する提言

全国では、空き家は年々増加しており、菊川市においても住宅・土地統計調査による空き家は平成15年から平成30年の15年間で2倍以上増加している。また、適切に管理が行われていない空家等となると安全性の低下、公衆衛生の悪化や景観の阻害等、地域住民の生活環境に影響を与えるものもある。そこで菊川市議会総務建設委員会では、「菊川市の空家等の対策」を令和3年度のテーマとして、研究・検証を進めてきた。空家等の対策を所管する行政部局との勉強会や市内の現地調査を実施し、空家等対策計画、対策事業や市内の現状について説明を受けた。また、現地調査においては所有者から空家等になった経緯、現状や課題などの意見伺い、菊川市の空家等の対策の課題と推進方法について議論された内容をまとめ提言とする。

記

- ① 菊川市の空家等の相談窓口として、都市計画課が業務に従事しているが、市民目線からすると相談窓口であることの認識が低く感じるため、空家等の相談窓口であることを広報やSNS等様々な方法で周知すること。また、空家等の所有者だけでなく、将来的に空家等の所有者などになる方が気軽に相談ができる仕組み・体制づくりをすること。
- ② 住宅の所有者自身が将来的な建物の有り方を健全なうちから自主的に考えてもらえるよう、行政が主体となって空家等に関する基礎的知識、各種制度の紹介や問題意識を醸成させる広報誌の作成、誰でも参加が可能な空家等に関するセミナーや出前行政講座の開設などといった対策に関する啓発活動を実施すること。
- ③ 現在、空家等対策検討委員会が開催されているが、庁内の組織であり実効性が高いものとは言えないため、専門家（不動産業者・土地家屋調査士・司法書士・建築士など）との連携による実効性の高い空家等対策推進に係る協議会の設立を検討すること。
- ④ 空家等に対する問題は行政だけで解決することは困難なものが多くあり内容も多岐にわたるため、多種多様な問題に対応できるよう、各種専門分野の団体との連携が取れる仕組みを構築すること。
- ⑤ 将来的に空家等につながる恐れがある高齢者等の一人暮らし世帯に対し、民生委員、自治会や近隣住民などと協力して、住宅の意向調査などを実施して所有者不明空家をできる限り作らない施策を講じること。
- ⑥ 周囲に悪影響を及ぼしている空家等を放置することが所有者にとって安易な選択とならないよう、そのまま放置すれば将来的に周辺的生活環境への悪影響が顕在化することが予見される空家等に関しては特定空家等に隣接することなく認定すること。
- ⑦ 住宅を取得する場合、新築住宅の取得がニーズとして高くあるが、近年中古住宅の取得のニーズも高まっていることから、中古住宅に対するリフォーム助成、空家改修費補助制度、空家除去支援制度や空家解体後の用地活用に係る支援制度等の創設を検討すること。

今後、菊川市内における空家等の発生を抑制し、良好な住環境の維持をしていくために「菊川市空家等対策計画」に基づく施策の推進とともに、菊川市の空家等の対策に関わる活動は、行政だけでなく市民・企業・団体との連携が欠かせない。行政執行部における充実した対策の整備と各種団体との連携を主体的となり取り組むことを要望し、菊川市の空家等の対策への提言とする。

令和4年度予算審査

- ◆一般会計 総務建設分科会
 - 総務部 ○危機管理部
 - 企画財政部 ○建設経済部
 - 生活環境部（水道・下水道のみ）
 - 消防本部（消防署を含む） ○会計課
 - 監査委員事務局 ○議会事務局
- ◆総務建設委員会
 - 水道事業会計
 - 下水道事業会計



静岡県 菊川市議会

総務建設予算審査



委員会メンバー



© 菊川市

総務建設分科会で審査された主な事業費

1. 駅南北自由通路整備事業費 1億5,124万4千円



自由通路
整備事業



© 菊川市

菊川駅南北自由通路整備工事委託料
5,100万円

南口駅前広場仮設工事費
1億円

普通旅費 14万4千円

消耗品費 10万円

項目	年度	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026	令和9年度 2027
都市計画決定	関係機関協議							
	★都市計画決定							
南北自由通路	●住民説明会							
	●公聴会							
橋上駅舎	JR協議							
	★覚書締結							
駅前広場	★工事協定							
	詳細設計							
自由通路・駅舎整備工事(仮設・撤去工事含む)	実施設計							
	南口広場復旧工事設計							
南口広場復旧工事								
	北口広場整備							

【自由通路】

- ・鉄骨造2階建て
- ・通路部：延長約90m、有効幅員4.0m
- ・階段部有効幅員：南口3.0m、北口2.0m
- ・エスカレーター：南北各1基、有効幅員1.0m
- ・歩行者専用道路とし、自転車通行は禁止
- ・エレベーター：乗用11人乗り、南北各1基
- ※自由通路南口E.Vは下り1番線ホーム用と兼用
- ※車いす・セ7カ対応、自転車・ストレッチ非対応
- ・北口自由通路階段下に公衆便所を設置

【駅舎】

- ・鉄骨造2階建て
- ・形式：橋上化
- ※既存駅舎が自由通路の支障となるため移転橋上化する
- ・延床面積：約1,100㎡
- ・階段：島ホーム2箇所、下り1番線ホーム1箇所
- ・エレベーター：乗用11人乗り、2基
- ※下り1番線ホームE.Vは自由通路南口用と兼用
- ・改札内に公衆便所を設置

2. 空家等対策推進事業費 20万5千円

特定空家等判定手数料
1万円

空き家ワンストップ相談会負担金
7万6千円

普通旅費 5万9千円

職員研修負担金 6万円



教育福祉委員会



令和3年度委員会テーマ

「高齢者の居場所づくり」



- ・「団塊の世代」800万人全員が75歳以上
後期高齢者となる超高齢化社会
- ・総人口1億2257万人のうち
後期高齢者の人口が2,180万人に達する

⇒ 担い手不足・年金など社会保障給付費増加等

静岡県 菊川市議会

教育福祉委員会



委員会メンバー



© 菊川市

令和3年度委員会テーマ

「高齢者の居場所づくり」



◇ テーマ背景

- ・「団塊の世代」800万人全員が75歳以上の
後期高齢者となる超高齢化社会の到来。
- ・総人口1億2,257万人のうち、後期高齢者の
人口が2,180万人に達する。

⇒ 担い手不足・年金など

社会保障給付費の増加

5月13日

- 生活支援体制整備事業の説明
- 高齢者の居場所づくり及び
社会福祉協議会の業務内容説明

8月6日

- 菊川市地域福祉計画及び
地域福祉活動計画の説明
- 民生委員との意見交換

8月23日

- 大阪府豊中市 社会福祉協議会
とオンライン研修
「コミュニティソーシャルワーカーの活動について」
※4

10月5日

- お寺を活用した居場所づくり
「またきてカフェ in 報恩寺」
説明及び意見交換

11月15日

- 「高齢者の居場所づくりについて」
提言書を市長へ提出

↓
12月21日 市長より回答書を受理



令和4年度委員会テーマ

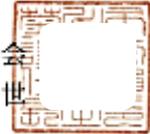
「幼保施設の現状把握と今後のあり方」



令和3年11月15日

菊川市長 長谷川 寛彦 様

菊川市議会教育福祉委員会
委員長 倉部 光世



高齢者の居場所づくりについて

わが国では人口減少や少子高齢化の進展により高齢者の増加が見込まれ、団塊の世代が75歳以上になる2025年には医療費が約1.2倍、介護費が約1.4倍、年金が1.1倍となり、さらには2040年に向け経済成長を上回るペースで増加する見通しがされているなど、社会保障費の増加が現役世代における更なる負担増につながる懸念されています。

また、厚生労働省の資料によれば、本年9月1日時点の100歳以上の高齢者総数は、86,510人となり、昭和45年の310人から51年連続で最多を更新するなど、年を重ねてからの生き方が問われる時代となっています。

一口に高齢者と言っても、一人ひとりの健康状態や生活環境は様々であり、高齢期であっても就労を継続していたり、就労はしていないものの地域社会を支える担い手として地域活動に従事していたりする高齢者がいる一方で、地域に出てゆくことに躊躇していたり、健康不安を抱えている高齢者も一定数存在していることも事実であります。

このような時代背景から、令和3年度教育福祉委員会では、高齢者が生き生きと生活することができる環境を今まで以上に整えていく必要があると考え「高齢者の居場所づくり」について調査研究を行い、提言として取りまとめました。

趣旨を十分に理解いただき、次年度予算又は実施計画に反映するようお願いするとともに、本提言に対する検討結果について、12月定例会会期中に報告いただくよう併せてお願いいたします。

記

1 生涯学習について

社会が成熟していくにつれ、心の豊かさや生きがいを求める人が増えており、自分を向上するための自己実現の欲求も高くなっている。世代や内容にかかわらず新たな知識や技術を学び、生活の糧とすることも求められているという点からも、生涯にわたり学習し続けることが豊かな人生につながると考えられている。

このように、生涯学習については今まで以上に重要視する必要があることから、本市における生涯学習の在り方について改めて検討を行い、担当課による取り組みだけでなく、様々な部署において生涯学習に繋げるための施策を検討すること。

2 老人クラブ（老人会）について

健康寿命を延伸するためには、心身ともに機能低下を防ぐことが必要である。

日常生活における活動を高めることにより社会参加を増やし、多くの人と触れ合うことによる孤独感の解消やひきこもりの防止も期待でき、仲間づくりの場においては、

趣味や特技を活かすことで、生きがいや社会参加意欲の向上が期待できるとともに支え合いの輪が広がることも期待できる。

昭和30年代に、時勢に遅れることなく修養を続けることを目的に各地で発足した老人クラブについては、加入者の減少や役員の担い手不足により、近年活動の衰退が懸念されていることから、名称変更も含めた在り方を再構築し、地域ごとに形態が異なる現状を解消し、共通した組織形態とし、課題である事務手続等をコミュニティ協議会やまちづくり協議会、行政が支援すること。

3 居場所の提供者に対する支援について

地域性を考慮した身近な生きがいや自己実現のための高齢者の居場所施策を更に進める必要があることから、お寺や空き店舗、空き家を活用した居場所づくりや地域農園の運営等をする個人、団体の支援を行い、誰もが立ち寄れる身近な居場所づくりを推進する。「高齢者に寄り添うやさしい居場所づくり」を始めるための手引書等の作成及び活動資金の相談等活動補助を行うこと。

4 居場所に関する情報提供について

高齢者、特に男性にみられるように、カルチャーセンターや公共機関が開催する公開講座など、決められた時間に決められた場所に向いて学習をするのは、精神的にも身体的も難しいことが多いとされている。

また、友人や仲間がいないなどにより活動や学習のきっかけがつかめない人にとっては、いつどこでどのようなものが開催されているのか、実際にはどのような内容なのか、それが「自分が本当に知りたいことなのか」などといったことが高齢者にとって分かりにくく、障壁となっている。

このため、高齢者が一人でも利用できるサークル、施設や店を居場所として指定し、その情報を誰もが容易に検索できる仕組みを構築すること。

5 居場所の整備について

高齢者の居場所に関する調査が、様々な機関によって行われており、代表的なものとして、公共の図書館、カフェ、公園、スポーツセンター・ジム、ショッピングセンター、スーパーやコンビニのイートイン、パチンコ、観光スポットの神社やお寺、量販店の休憩場所、川や海辺で魚釣り等が挙げられている。

働く場所を失うと自宅以外に自分の居場所を探すのが大変になるとも言われていることから、一人でも気軽に外出をするきっかけとなる図書館・公園・ウォーキングコース・観光スポット等の整備を推進すること。

令和4年度予算審査

- ◆一般会計 教育福祉分科会
 - 健康福祉部
 - 教育文化部
 - こども未来部
 - 生活環境部（水道・下水道を除く）
- ◆教育福祉委員会
 - 国民健康保険特別会計
 - 後期高齢者医療特別会計
 - 介護保険特別会計
 - 病院事業会計



静岡県 菊川市議会

教育福祉予算審査



委員会メンバー



© 菊川市

教育福祉分科会で審査された主な事業費

1. 幼保施設整備事業費 1,311万7千円



測量設計調査業務委託料
1,311万7千円

小笠北認定こども園 園舎建設
工事基本設計業務委託



小笠北幼稚園 園舎の老朽化
等に伴う新園舎建設に係る基本
設計業務を委託する。

2. 保育事業費(保育支援) 1億3,075万8千円

保育士等就業奨励金
350万円

保育対策総合支援事業費補助金
1,314万8千円

多様な保育推進事業費補助金
6,606万円

障害児保育事業補助金
829万6千円

保育対策等促進事業費補助金
286万5千円

年度途中入所サポート事業補助金
754万円

特定教育・保育施設副食費補助金
604万8千円

保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金
2,099万6千円

普通旅費、職員手当等
51万円

需要費、役務費、委託料
101万3千円

使用料・賃借料
78万2千円



各会計当初予算審査

◆ 予算決算特別委員会

- ・一般会計当初予算

◆ 総務建設委員会

- ・水道事業会計
- ・下水道事業会計
- ・(土地取得特別会計)

◆ 教育福祉委員会

- ・国民健康保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・病院事業会計



静岡県 菊川市議会

各会計予算審査



予算決算特別
委員会メンバー



© 菊川市

審査された各会計別予算

一般会計 205億 3,600万円



土地取得特別会計 1千円



国民健康保険特別会計
44億5,164万円



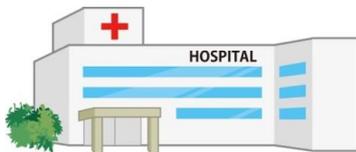
後期高齢者医療特別会計
5億4,192万円



介護保険特別会計
37億6,404万円



病院事業会計
68億3,208万円



水道事業会計
18億9,401万円



下水道事業会計
12億5,553万円



令和4年度の予算
につきましては
広報菊川の4月号
に詳しい内容が
記載されています。



広報菊川 4月号
vol. 296

© 菊川市



市民説明会について

- ・ 更に、詳しい説明が聞きたい…
- ・ 他のことについても、説明してほしい…
- ・ 特に何もなければ、議員と話したい…



どんな内容でも結構です。
菊川市議会では、希望される
市民の皆様と意見交換
を行う、**市民説明会**を
開催しています。



静岡県 菊川市議会

市民説明会について



© 菊川市

(HP下段の「お問い合わせ」から)

議会事務局
問合せ先

- もっと詳しい説明が聞きたい
- 別の件で、聞きたいことがある
- 何でもいいから、議員と話したい など
そんなときは…



市民説明会という方法があります!!



© 菊川市

菊川市議会基本条例

第13条 3項

委員会は、市民からの要請に応じて審査の経過等を、説明するため、市民説明会を積極的に行うよう努めるものとする。

市民説明会(委員会)概要

対象者

- ・ 市民(市内に在住する個人及び市内で活動する法人その他の団体)とする。
- ・ 概ね10人以上を目安とする。

実施日時

- ・ 概ね午前9時～午後9時の間で開催し、土日も実施する。
- ・ 時間は概ね2時間を目安とする。

会場

- ・ 会場の手配は申請者をお願いする。(お金がかかる場合は申請者の負担)
- ・ 原則として市内で開催する。

内容

- ・ 委員会での審査案件・経緯・結果について説明し、意見交換をする。

手続き

- ・ 議会事務局で受付し(電話も可)、その後、委員長と申請者が協議して詳細(会場、日時、内容等)を決定する。

※議会事務局まで、お気軽にご連絡ください。

【用語解説】

※1「リプレース」(P7)

replace 置き換えることを意味する英語。既存のものに取って代わること、交換すること。

※2「ゼロウェイスト(7R)」(P7)

イギリスの産業経済学者マレーが提唱した概念。ごみを焼却、埋立て処理をせず、資源の浪費や、有害物質・非再生可能資源の利用をやめて環境負荷を減らしながら、たい肥化などの物質回収や再生可能エネルギー利用、リサイクルによって、ごみをゼロにする考え方。

7Rは、「Refuse:断る、Reduce:減らす、Reuse:何度も使う、Reform:つくり直す、Repair:修繕する、Rental:借りる、Recycle:原料に戻してつくり直す」の7つの頭文字「R」

※3「啓発用マグシート」(P7)

表面に情報・知識・気づきなどの周知事項を印刷やフィルムにより表示したマグネットシート。スチール製の素材に貼って、情報伝達を行うもの。紙類よりも長く保管してもらうことができる。

※4「コミュニティソーシャルワーカー」(P13)

イギリスにおいて提案されたコミュニティに焦点をあてた社会福祉活動・業務の進め方で、地域において、支援を必要とする人々の生活圏や人間関係等環境面を重視した援助を行うとともに、地域を基盤とする支援活動を発見して支援を必要とする人に結びつけたり、新たなサービスを開発したり、公的制度との関係を調整したりすることをめざし、活動する人のこと。